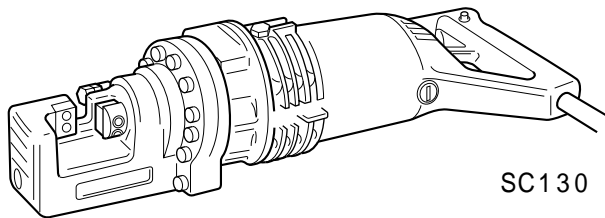




# 鉄筋カッタ

モデル SC130/SC161/SC191

## 取扱説明書

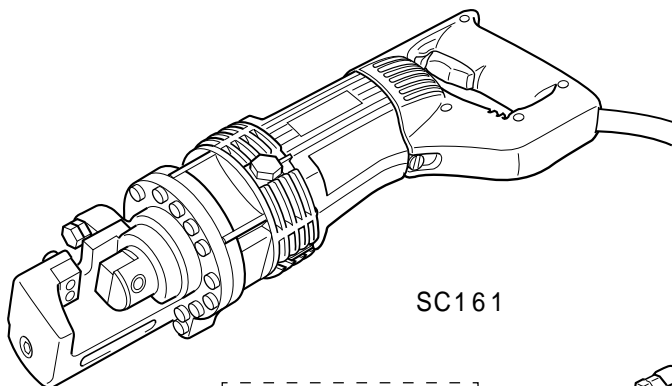
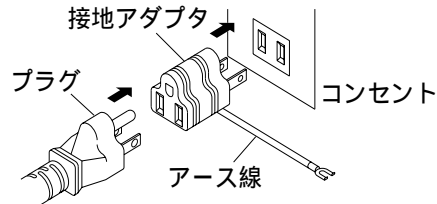


SC130



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。

コンセントにアースのない場合  
図のように接地アダプタを使用して接続します

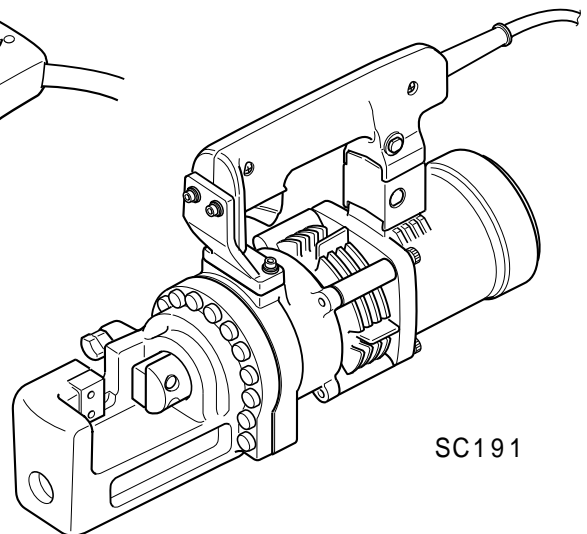


SC161



二重絶縁

このマークは、電気的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地（アース）しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。



SC191

このたびマキタ鉄筋カッタをお買い上げ賜り  
厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分  
ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全  
に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

## 目次

主要機能 .....	2
安全上のご注意 .....	3 ~ 6
各部の名称および標準付属品 .....	7
操作方法 .....	8
刃物の取り付け・取りはずし方 .....	9
カーボンブラシの交換のしかた .....	10
保守・点検について .....	11

## 主要機能

主要機能		モデル	SC130	SC161	SC191
電動機			直巻整流子電動機		
電圧			単相100 V		
電流			5.3 A	11 A	14 A
周波数			50 - 60 Hz		
消費電力			500 W	1050 W	1330 W
切断能力 (切断材料抗張力)	SD345相当品		13 mm	16 mm	19 mm
	SD390・SD490相当品 (SP刃物使用)		10 mm	16 mm	19 mm
切断速度			1.5 秒	1.5 秒	2.5 秒
質量			6.5 kg	8.7 kg	12.8 kg
機体寸法(長さ×幅×高さ)			395×100×110 mm	492×165×120 mm	396×112×220 mm

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。




# 安全上のご注意


火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。


ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。


お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取扱等に関する重要なご注意。

## 警 告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

## 警 告

- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
10. 保護めがねを使用してください。
    - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  11. 防音保護具を着用してください。
    - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
  12. コードを乱暴に扱わないでください。
    - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
    - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  13. 加工する物をしっかり固定してください。
    - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
  14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
  15. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
    - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
    - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
    - ・使用しない、または、修理する場合。
    - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
    - ・その他危険が予想される場合。
  17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。
    - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。
  18. 不意な始動は避けてください。
    - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
  20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・常識を働かせてください。
    - ・疲れている場合は、使用しないでください。
  21. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

## 警告

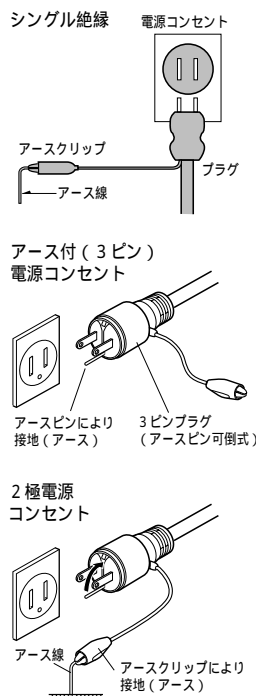
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。  
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、鉄筋カッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

1. 必ず接地（アース）してください。  
（二重絶縁機は除く）
  - ・故障や漏電の時、感電の原因になります。
  - ・接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
  - ・3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
  - ・アース付（3ピン）電源コンセントの場合3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）
  - ・2極電源コンセントの場合アースクリップをアース線に接続してください。
  - ・アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
  - ・テスターや絶縁抵抗計をお持ちでした



ら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外輪部）間の導通を確認してください。

- ・アース棒やアース板を地中に埋めこみ、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- ・漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

\* 労働安全衛生規則

第333条・第334条

電気設備の技術基準

第18条・第28条・第41条

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

2. アース線をガス管に接続しないでください。  
(二重絶縁機は除く)  
・爆発の恐れがあります。
3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。(二重絶縁機は除く)  
・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。  
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。  
・確実に保持していなすと、けがの原因になります。
6. 使用中は、刃物およびその周辺に手や顔などを近づけないでください。  
・けがの原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。  
・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機械などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. 刃物類は取扱説明書に従って確実に取りつけてください。  
・確実にないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。  
・材料や機体などを落としたりしたときなど、事故の原因になります。
3. 使用中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて使用を中止してください。  
・そのまま続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

### 注

- ・鉄筋カッタは電動油圧式です。お求めいただく時には、内部の油量は充填されておりますので、作動不良がないかぎり補充しないでください。
- ・機械に合った純正刃物をご使用ください。
- ・磨耗したり、変形、破損、亀裂などが生じた刃物は、本体の故障の原因となるばかりでなく、事故の原因となる恐れもありますのですみやかに純正刃物と交換してください。
- ・本機は油圧オイルを使用しておりますので、気温、室温が低い場合や、使いはじめには、2～3分ていどの暖気運転（無負荷運転）をおこなってください。

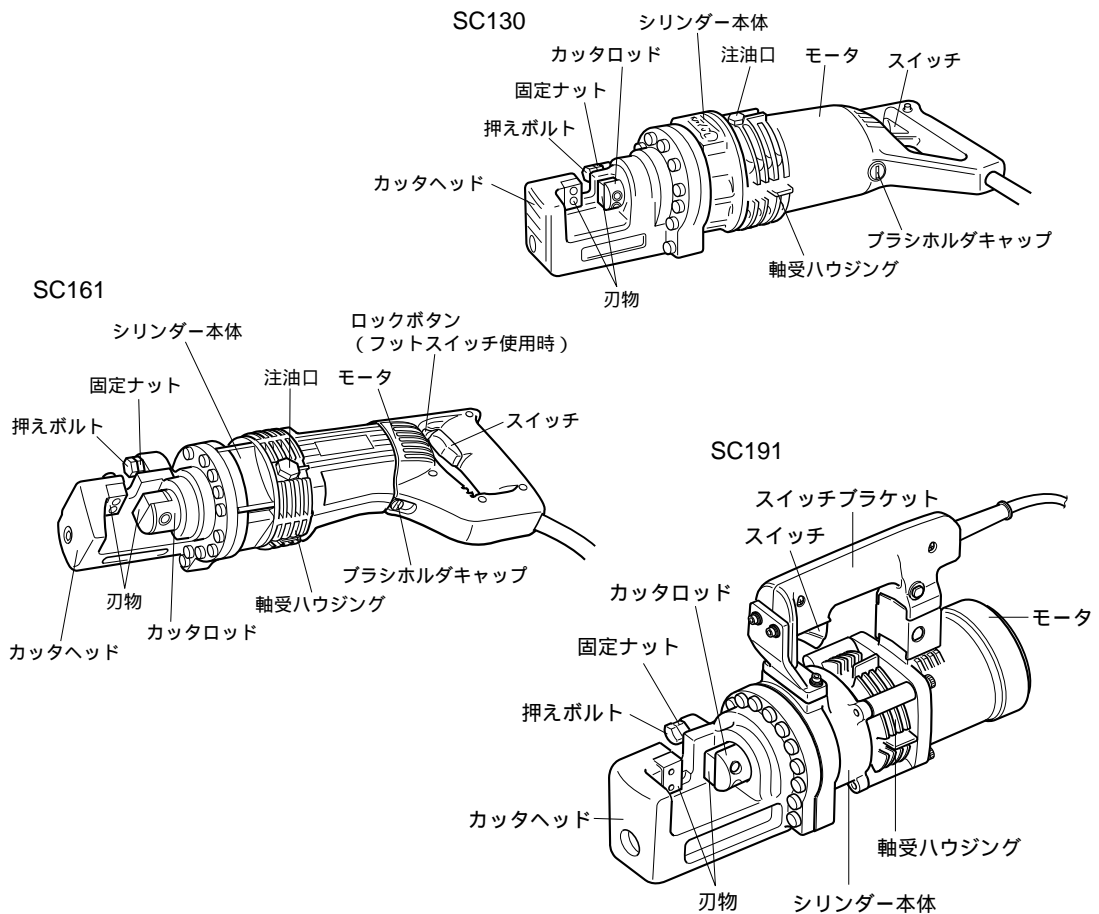
- ・電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～5A	5～10A	10～15A
0.75mm <sup>2</sup>	20m	-	-
1.25mm <sup>2</sup>	30m	15m	10m
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m

つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

(SC130/SC161)

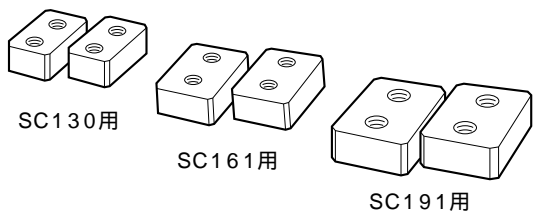
- ・ 収納ケース
- ・ 六角棒スパナ 3. 4. 5(各 1 本)
- ・ 両口スパナ 14 × 17
- ・ 油圧オイル# 46 (35cm<sup>3</sup>)

(SC191)

- ・ 収納ケース
- ・ 六角棒スパナ 3. 4. 5. 6(各 1 本)
- ・ 両口スパナ 17 × 19
- ・ 油圧オイル# 46 (150cm<sup>3</sup>)

## 別販売品

・ 替刃

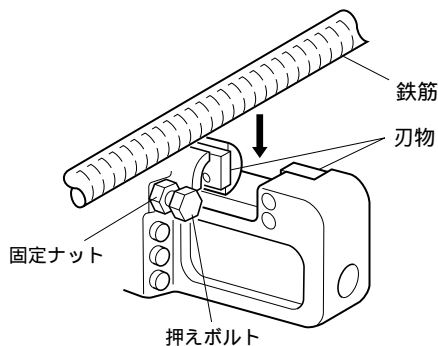


油圧式鉄筋カッタの替刃 (四面使用)

機 種	A(カッタヘッド側取付)	B(カッタロッド側取付)
SC130( 3 ~ 13 m/m)	20 × 15 × 9 × M5 m/m 2穴	20 × 15 × 8 × M5 m/m 2穴
SC161( 3 ~ 16 m/m)	26 × 20 × 10 × M5 m/m 2穴	21 × 20 × 10 × M5 m/m 2穴
SC191( 3 ~ 19 m/m)	28 × 20 × 11.5 × M6 m/m 2穴	26 × 20 × 10 × M5 m/m 2穴

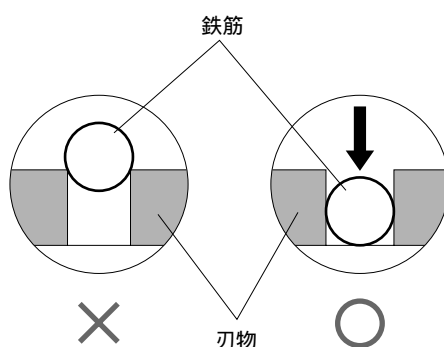
# 操作方法

- 右図のように、鉄筋を切断口に、刃物に対して直角になるようにセットしてください。  
このとき、鉄筋の太さ（直径）にあわせて「押えボルト」とその「ナット」を調節し、固定してください。鉄筋はこのボルトの頭部で支えられて、切断時にも刃物に対して直角をたもちます。
- 単相100V電源にプラグを差し込んでください。  
このとき、モデルSC130は必ず接地（アース）してください。
- 右図のように、鉄筋を刃物と刃物のあいだに深く置いてください。



<b>⚠ 警告</b>
鉄筋をセットする位置が浅い場合には、切断の瞬間に鉄筋の切断片や破片が飛ぶことがあり危険です。また、刃物が破損する原因にもなります。正しく鉄筋をセットしてください。

<b>⚠ 警告</b>
破損（刃がけ、ひびわれ）したり、変形した刃物はすみやかに交換してください。鉄筋切断の際にははずれたり、われたりして重大な事故になる危険があります。

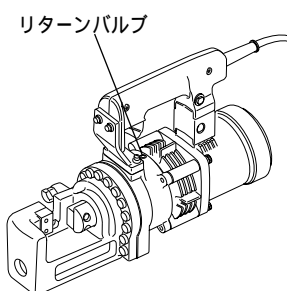


- スイッチを入れると、刃物がついた「カタロッド」が前進し鉄筋を切断します。このとき、「カタロッド」が先端まで前進し停止するまでスイッチは引いたままにしてください。
- スイッチを切ると「カタロッド」はもとの位置までもどります。  
「カタロッド」は、先端まで前進し停止するまでは、途中でスイッチを切ってももとの位置へはもどりません。これは、機械内部の油圧制御バルブが中間位置では開放しないためです。同様に、「カタロッド」がもとの位置まで完全にもどるまでは、スイッチを入れても再び前進しません。「カタロッド」が完全にもとの位置までもどり停止してから、次の切断のためにスイッチを入れてください。

## 注

機械本体の外部表面の温度が70℃をこえるとパワーが低下します。いったん冷却のために使用をやめてください。

## リターンバルブの使用方法（SC191のみ）



本機の「リターンバルブ」は、鉄筋切断時のトラブルにも対応できる便利な機能として設置されています。鉄筋を切断する際に、もし切断途中でカッター刃物が材料にくいこんだまま停止してしまった場合などには、リターンバルブを付属の六角棒レンチにて時計回りと反対の方向へ半回転ほどゆるめることで、本体内部の油圧が解放されて、カタロッドはもどります。トラブルを解消したあとは必ず再びバルブを締め込んでください。次の切断ができます。

# 刃物の取り付け・取りはずし方

## 警告

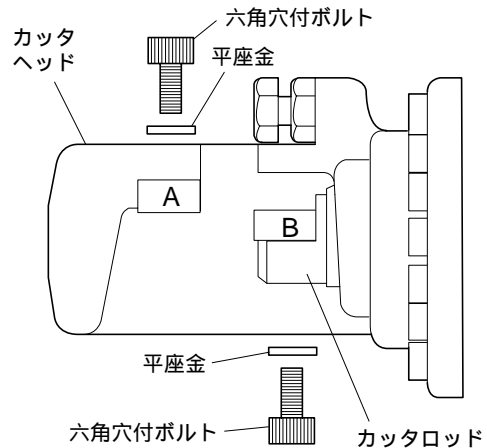
刃物の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・プラグを電源につないだままおこなうと事故の原因になります。

### 注

刃物を交換される場合は次の手順で取り替えてください。

1. 刃物はカッタヘッドに取り付けられる刃物Aとカッタロッドに取り付けられる刃物Bとがあります。取り付け位置を間違えないよう正しく取り付けてください。
2. カッタヘッドとカッタロッドの刃物を取り付けている六角穴付ボルトを取りはずしてください。
3. カッタヘッドとカッタロッドの刃物取り付け部の汚れやゴミを取り除いてください。
4. 刃物Aをカッタヘッドに、刃物Bをカッタロッドに六角穴付きボルトと平座金でしっかり締め付けてください。（図参照）



## 警告

刃物はしっかりと確実に取り付けてください。

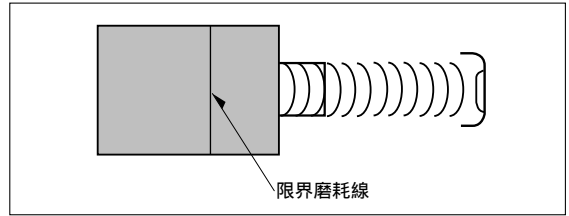
- ・取り付けがゆるいと事故やけがの恐れがあります。

### 刃物取付ボルト (mm)

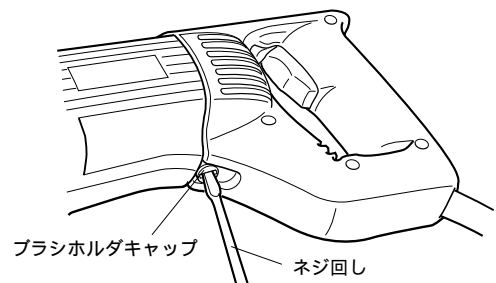
モデル	A (カッタヘッド側刃物)	B (カッタロッド側刃物)
SC130	六角穴付ボルト M5 × 15 2本	六角穴付ボルト M5 × 12 2本
SC161	六角穴付ボルト M5 × 18 2本	六角穴付ボルト M5 × 15 2本
SC191	六角穴付ボルト M6 × 18 2本	六角穴付ボルト M5 × 15 2本

# カーボンブラシの交換のしかた

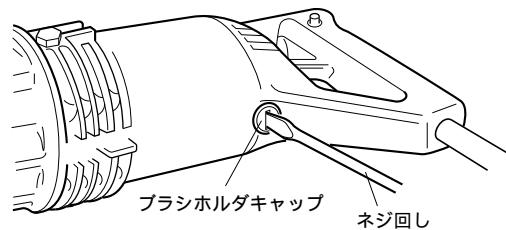
- ・カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。  
カーボンブラシが限界磨耗線まで磨耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。  
新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。  
カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時におこなってください。



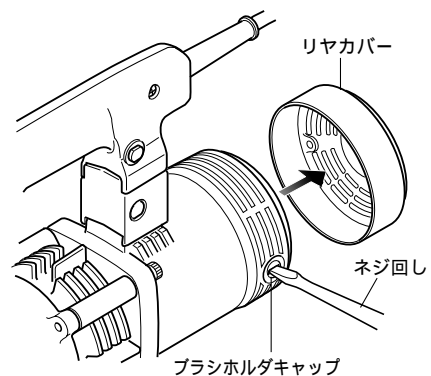
SC161の場合



SC130の場合



SC191の場合



## 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・プラグを電源につないだままこなうと、感電や事故の原因になります。

# 保守・点検について

## オイルの補充方法

注

オイルはマキタ純正油圧オイル 46をお買い求めください。  
その他のオイルは使用しないでください。

### オイルの入れ方(不足のときの補充の仕方)

1. 鉄筋をはさみ(能力最大径の鉄筋、つまりSC130では13mm、SC161では16mm、SC191では19mm)スイッチを入れて鉄筋の中心部あたりまで「カッタロッド」を前進させます。
2. スwitchを切り、「カッタロッド」を止めます。
3. そのままの状態、注油口のボルトをはずし油圧オイルをいっぱいまで補充してください。
4. いったん注油口のボルトを締め付けて、スイッチを入れ、(1)ではさんだ鉄筋を切断してください。
5. (1)から(4)までの操作を2～3回繰り返しながら、油圧オイルの補充を行なってください。注油口のボルトをはずしたときにオイルがいっぱいまで入っていて、その油面が下がらなければ完了です。

### カッタロッドが出てこないとき

#### 原因

1. 油圧オイルが少ない。又は入っていない。
2. 切断した鉄筋カスなどがカッタロッドの摺動面についてカッタロッドが完全に戻っていない。

#### 対策

1. 前述の要領で油圧オイルを補充してください。
2. カッタロッドを傷めないよう鉄筋カスなどを布で拭きとってください。又、カッタロッドは定期的に掃除してください。

### カラ運転ならカッタロッドが出るが鉄筋をはさむと切れない

#### 原因

1. リリースバルブに鉄粉、ゴミなどが付いている。
2. チェックバルブに鉄粉、ゴミなどが付いている。
3. ウレタンパッキンの磨耗。
4. ピストンの磨耗。

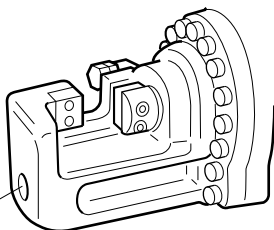
#### 対策

この場合は機械の分解、点検・整備が必要です。  
販売店、事業所へお申しつけください。



## 警告

抗張力の高い(硬い)鉄筋や輸入された鉄筋を切断する際に切片が飛ぶおそれがあります。周囲の安全を十分にお確かめのうえ作業をしてください。また、不測の場合に備えて作業者は保護メガネをご使用ください。



空気穴



## 注意

カッタヘッド先端の空気穴を泥やほこりなどでふさがないでください。油圧を調整する大切な空気穴です。

# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈088〉(626) 0555
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈089〉(951) 7666
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈0895〉(22) 3785
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)